

競技注意事項

- 1 競技運営は 2025 年度（財）日本陸上競技連盟競技規則及び大会要項、本大会申し合わせ事項により実施する。
- 2 競技者は各自が用意したアスリートビブスを胸部背部に付けて出場すること。なお、トラックの個人種目、リレーのアンカーは用意された腰ビブスを付けること。
- 3 選手の練習は補助競技場だけがをしないように十分注意して行うこと。ジャベリックボール投の練習は公園・芝生等では行わず、招集後フィールドに入ってからのみ行う。補助競技場への入場は選手及びバッジを付けた監督・コーチのみとし、これ以外の入場は厳禁する。
- 4 招集時間
以下の時間に遅れないように競技場の 100m スタート後方の入口に集合し、競技者係に種目とチーム名、自分の名前を申し出る（コールという）。このコールをしない者は競技に出場できない。招集終了後、審判員の引率で所定の位置に移動する。

	トラック	フィールド
開始	競技開始 30 分前	競技開始 40 分前
終了	競技開始 20 分前	競技開始 30 分前

- リレーのオーダー用紙は招集完了 1 時間前までに競技者係に 1 部 提出する。（用紙は競技者係の所にある）リレーは申込時のメンバーでオーダーを組むこと。
- 5 スタートの合図はイングリッシュコールとする。同じ競技者が 2 回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。スタートはクラウチングとする。
 - 6 トラック競技のレーンはプログラム記載のとおりとする。またトラックの 100m、200m、4×100m リレーは自分の決められたレーンを走ること。リレーにおけるテイクオーバーゾーンは 30m とする。
 - 7 トラック競技は全てタイムレースで行う。決勝は予選タイム上位 8 名で行う。但し、同記録の場合は 0.001 秒まで写真判定を拡大して決定するが、それでも決定できない場合は抽選とする。
 - 8 女子 5・6 年 800m のスタートはオープンレーンとする。
 - 9 ハードル競技は男女とも、スタートから 1 台目まで 13m、高さ 70cm、インターバル 7m、台数 9 台とする。
 - 10 フィールド競技の試技の順序は、プログラム記載の上から下へで行う。5・6 年走幅跳とジャベリックボール投は最初の 3 回で上位 8 名を選び、8 名であと 3 回ずつの試技を行う。3・4 年走幅跳は 3 回のみの試技で順位を決定する。
 - 11 走高跳は男女ともに 80cm と 1m で練習し、90cm より競技を始める。男女共にバーの上げ方は 1m20cm まで 5cm とし、それ以上は 3cm とする。着地は必ず足からとし、足以外の着地は不正とみなす。

- 12 ジャベリックボール投は投てき場やり投ピットで行い、助走は15m以内とする。角度もやり投同様とする。競技場備え付けの用具を使用し、ボール本体を持ちオーバーハンドで投げることに。
- 13 各種目8位まで賞状、3位までメダルを授与するので、順位発表後直ちに本部へ集合すること。
- 14 出場する選手及び競技役員・補助員以外競技場内に入らない。
- 15 スパイクのピンの長さは9mm以下とする。素足は安全性の面から認めない。
- 16 ゴール後はスパイクを脱いで、本部裏の室内通路を通り、スタート位置に戻るか、バックスタンド側を競技に支障のないように通り、スタート位置へ戻ること、
- 17 選手のけが等の応急処置は本部で行うが、以後の責任は各チームが負う。
- 18 各チーム全員により、競技会終了後、スタンド及びサブグラウンドの清掃をする。